



# ITEA 研修における東日本専門分科会活動の紹介



研修部

ITEA研修が、変化する環境や業界共通の課題・ニーズにどのように対応しているのか、今回はその仕組みについて解説するとともに、肝である東西に設置されている専門分科会の東日本の活動状況を紹介します。

まず仕組みについてですが、ITEA研修は人材育成委員会を頂点に3階層の会議体にて検討、意思決定され実施されます(図1)。

- (1) 人材育成委員会(ミライト・テクノロジーズ高島社長を委員長とし、会員会社社長7名を委員として構成)
- (2) 全国人材育成会議(各社の人材育成部門からメンバー選出)
- (3) 東西の専門分科会(東西個々に各社の施工部門等からメンバー選出)

この内、ITEA研修の具体的なPDCAは、東西に設置されている7つの専門分科会〔安全、線路、宅内、土木、交換伝送、電力、無線〕により実践されます(図2)。分科会ごとに主査、副主査を決め、年度ごとに課題を設定、メンバー全員で役割分担し各々取り組み、年6回の会合時の進捗確認、意見交換を経て具体化されます。

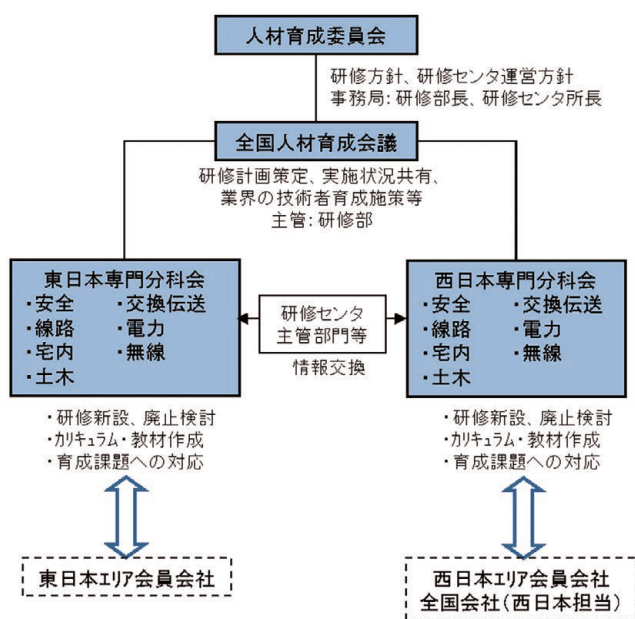


図1 ITEA研修の計画・施策等の検討、意思決定体制

主な課題としては、事業動向に則した研修の新設廃止、研修効果向上に向けたカリキュラム/教材の作成や見直し、研修実施結果に基づく各種改善などです。昨今では安全分科会および土木分科会等の東西連携や、線路分科会と宅内分科会連携の動きがあり、事業動向の変化が分科会の形にも影響してきています。

次に、東日本の2017年度専門分科会活動について紹介します。

## (1) 安全分科会

### ① 東西安全分科会の連携

- ・ 検討WG設置による安全専任者研修および危険体感研修に関する効果向上に向けたカリキュラム、教材等の見直し

### ② 研修新設検討

- ・ 業務経験3年以上の安全専任者を対象とした役割の再認識を促すブラッシュアップ研修

### ③ 既存研修の充実

- ・ 安全専任者研修科: 安全監査員に関するカリキュラムの充実
- ・ 職長・安全衛生責任者教育インストラクタ科: 職長12の教育インストラクタ実践版テキストの作成
- ・ 危険体感安全研修科(所外): 研修効果向上に向けた映像コンテンツ作成
- ・ 安全パトロール研修科(線路): 模擬点検表を用いた実習方式の試行等

## (2) 線路分科会

### ① 研修新設検討

- ・ 災害発生時に所外設備班の中心となる統制や現地対応者の育成研修

### ② 既存研修の充実

- ・ 光ファイバケーブル技術科: 中継系光施工技術カリキュラムの追加
- ・ 設備管理研修科(保全企画): 生産性向上指標に関するカリキュラムの追加
- ・ ガス設備保守技術研修科: 漏えい補修実習対象の変更対応(鉛管→スタンダードクロージャ)
- ・ 品質管理科(線路): 適合/不適合事例の説明等、一部カリキュラムの見直し

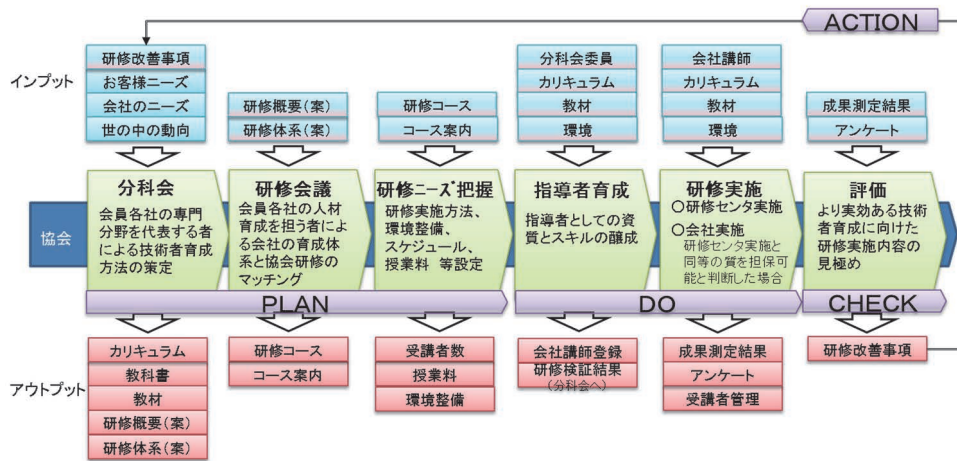


図2 専門分科会による研修のPDCA

③NTT東日本技術認定合格率向上への取組み

- ・各社の受験状況共有と対策についての情報交換 等

(3) 宅内分科会

①研修新設検討

- ・BO (Back Order) 削減に向けた専門支援班向け高難度配線等を想定したルート構築研修
- ・法人系商材「ギガらくサイネージ」、「おまかせみまもりくん」等のセットアップ研修
- ・PBXのNECシリーズを題材とした研修
- ・ビジネスホンαN1シリーズ対応研修

②既存研修の充実

- ・基礎研修ユーザ宅内科：教材（約400ページ）の現行化

③NTT東日本技術認定合格率向上への取組み

- ・各社の受験状況共有と対策についての情報交換 等

(4) 土木分科会

①東西土木分科会の連携

- ・東西エリアの受講ニーズおよび研修環境等を勘案した、基礎研修土木科を含む9コースに関する東日本研修センタ集約実施の具体化

②既存研修の充実

- ・土木施工管理科：リサイクル、廃棄物処理等に関する教材の現行化
- ・社外工事立会技術科：アクセス部門受講者向け土木基礎知識修得方法の検討 等

(5) 交換伝送分科会

①既存研修の充実

- ・主任技術者等研修科（新任所内）：受講者、講師意見を反映したカリキュラム、テキストの見直し、講師用プレゼン資料の共通化および新規作成による研修品質の向上
- ・設備事故防止対策科（所内）：設備事故の現行化等教

材見直しおよび危険体感カリキュラムの追加

③受講機会の充実

- ・遠隔研修の試行実施・結果検証および平成30年度拡大検討 等

(6) 電力分科会

①研修新設検討

- ・労働安全衛生法に則った座学と実技をセットにした「低圧電気取扱者認定教育」の新設

④既存研修の充実

- ・交流電源無瞬断工事研修科（再修）：DA-INVカリキュラムと教材の追加
- ・分散給電装置科：HDVCカリキュラムと教材の追加
- ・電力実習環境の現況調査と現用工具等への更改検討 等

(7) 無線分科会

①研修新設検討

- ・新たな無線従事者を対象とした無線技術基礎研修の新設（西日本既設研修の導入検討）

②既存研修の充実

- ・固定無線・衛星通信技術科および基礎研修無線科：試験問題、演習課題の見直し
- ・移動無線通信技術科：事前学習課題の確実な実施のための提出方法、コース案内見直し
- ・講師会議を通じた研修結果の確認と意見交換、および新任講師育成 等

以上のように、各専門分科会とも高い意識をもってメンバー全員で課題解決に取り組んでいます。

研修に来られるみなさんも、是非アンケートなどで意見を出していただき、より良い研修実現にご協力ください。